

俺の推しメン
美琴みこには
悪い噂があった

あなたの娘に
なりたいの〜♪

だってバカ
大好きだから
♪♪

ハハハハハ
全部あけても
いいの〜♪

夜の店で体を
売っているという
ふざけた噂だ



みこ!!

は…

ほうあ…

みこは天使だ…
当然俺は信じなかった
……だが、
どうしても真相を
確かめたくなった俺は
夜の街を捜し歩き

ついに…
彼女が働いてる店を
見つけてしまったのだ…

ぱば
おがえり
なさあ〜い♡

そこに居たのは
紛れもない
彼女だった…!

俺の中の
天使の幻想は
徐々に
消え去り…

ねぐいじえ♡
かわいい
ごしよ♡

みこを指名して
くれてありがとう♡
ほら入って♡♡

嬉々として
客を迎え入れる
みこ……

みて
みて♡

あられない姿…

ウキ♡

いっぱい
愛しあおうね
ぱばあ…♡

こっち
きこ…♡

みこと
やれるんだ…

うん♡
いいよ…♡

うふ♡

絶望と興奮が
入り混じって

気が狂いそうになった

ご…ゴム無し
でいいの…?

その事実だけで
もう充分だった

代わりに…
とてつもない
情欲が
沸き上がって
くるのを感じた





この日以来、俺は
アイドルヲタを卒業し…

代わりに風俗マニアになったとき